

教育目標

1. 真の学力を身につけた生徒の育成
2. 体力と気力を備えた生徒の育成
3. 豊かな、素直な心情に満ちた生徒の育成



東校舎の全景



いわき立市

植田中学校

わが校のほこり

本校は、旧植田中・山田中を統合、昨年、創立十周年をむかえ、千名余の生徒が「豊かな心情に満ち、学・体・気力の充実した生徒」をめざして励む古い伝統をもつ新進校と言える。

全職員も、その教育目標具体化に向かって、「本校教育三カ年計画」をうたて、「日々の営み即研修」「みんなできめて、みんなで実行」をモットーに、毎日の教育活動を推進している。

その結果、従来、「素直だが、気力に欠ける」とされた、都会っ子的ひ弱さ

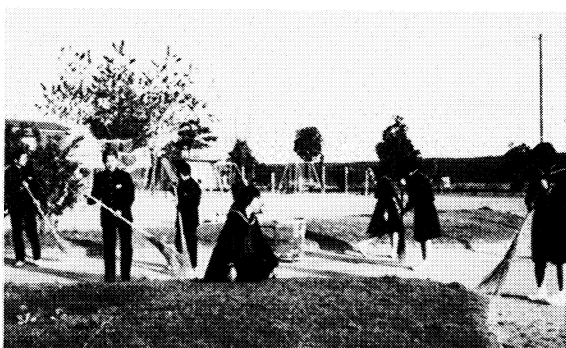


栄光への底辺（校内陸上競技大会）

を払拭^{はら}たくましく、特色ある生徒活動の片りんを見せはじめています。

各部活動、昨年度の成績も、その一例。雨天の直後も使用可能の一万三千平方メートルの校庭施設もさることながら、五百余の部員が流した汗と、涙は尊い。

その中から、陸上競技で市・県大会の男女総合優勝。庭球で県・東北二大会制など、特筆すべき栄光を手にした。これらは、体育の日常化への全校努力と、校内陸上、駅伝、球技会等、



奉仕活動（小さな親切運動に参加）

全生徒参加行事の充実など、底辺にくだい込む継続的営みの発芽であろう。

更に、「豊かな心情」への活動面でも、クラブ活動発表会、全生徒の、小さな親切運動への積極参加など、その傘を広げつつ、数々の善行表彰や放送コンクール連続入賞のような形で、地についた成果となってあらわれている。

そして、常に、この成果のうえに、何を加えうるか、全教師・生徒が、模索している。これが本校の姿である。



先輩の作品をバックに美術クラブの創作